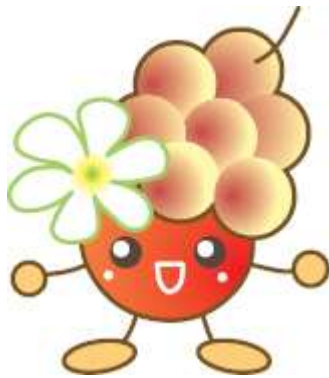


「埋立てられた川と橋」(『大阪春秋 11号 大阪の道 後編』大阪春秋社 1976) ID 0090012815 p.80
 「中島大水道に思う」(『大阪春秋 19号 おおさかの橋と川』大阪春秋社 1979) ID 0070052023 p.64~71
 「史伝 中島大水道」(『大阪春秋 84号 十三とその周辺』大阪春秋社 1996) ID 0000573751 p.18~23
 『大阪史蹟辞典』三善貞司編 清文堂出版 1986
 *ID 0000214926 p.470~471
 『東淀川歴史探訪』三善貞司編 大阪市東淀川区役所 区民企画室企画振興係 2005 *ID 0010998590 p.49~56
 『淀川三区神史』三善貞司 1978 *ID 0080196670 p.45~49
 [VHS]『ひがしよどがわ-東淀川区紹介ビデオ-』大阪市東淀川区役所 1998 ID 7000036262
 [WEB]「おおさか資料室」→「大阪に関するよくある質問」→「東淀川区」『中島大水道について』



区のキャラクター“こぶしのみのりちゃん”

この調べかたガイドでは、東淀川区をテーマに4つのトピックを選び出し、それについて調べるのに役立つ情報源を、わかりやすく紹介しています。

ID 大阪市立図書館の「書誌ID」(お問い合わせの際にお伝えください)

東淀川図書館に所蔵しているものは、IDの前に*をつけて表示しています。(*の無いものも所蔵館から取り寄せできます。)

小学生から読めるものはID番号の後に👤 オムリンマークをつけています。

[WEB] 大阪市立図書館のホームページ

[VHS][DVD]はビデオテープ、DVDなど視聴覚資料です。

紹介した資料やホームページなどはほんの一例です。図書館ホームページ「おおさか資料室」や各館のページにも「よくある質問」や区に関する資料のリストを掲載しています。より詳しくお知りになりたいときは、図書館のカウンターへご相談ください。図書館司書がお手伝いします。

調べかたガイド: 各区版
東淀川区の調べかた

東淀川区の史跡・名勝・建築

-瑞光寺・鯨橋-

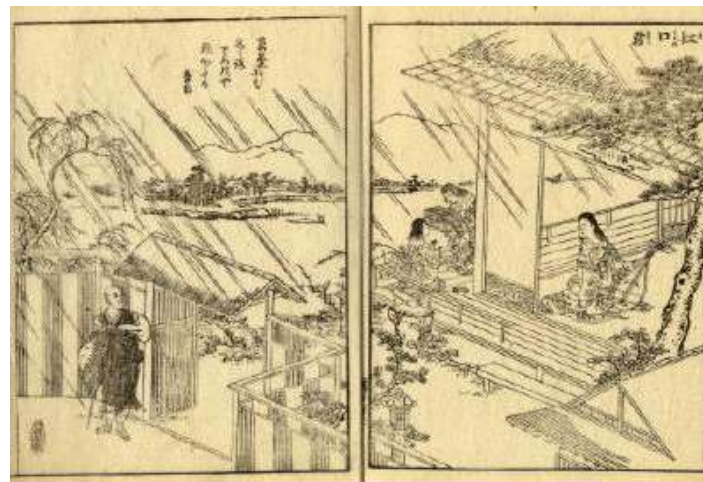
東淀川区の人物・伝説 -江口の君-

東淀川区の民俗・文化 くにじまさらし -柴島晒-

東淀川区を知る -中島大水道-



区の花“こぶし”デザインマーク



『摂津名所図会 卷三』より「江口君」

大阪市立東淀川図書館

〒533-0023 大阪市東淀川区東淡路1-4-53

TEL 06-6323-5476

<https://www.oml.city.osaka.lg.jp>

開館時間 火~金曜日(第3木曜日は休館)

10:00~19:00

土・日曜日、祝・休日、7/21~8/31の月曜日

10:00~17:00

休館日 ●月曜日、第3木曜日(祝・休日は開館)

7/21~8/31の月曜日は開館

●年末年始 ●蔵書点検期間

東淀川区の調べかた

Ver. 3 2019. 3. 24改訂

東淀川区の史跡・名勝・建築—瑞光寺・鯨橋—

江戸時代・1756(宝暦6)年、瑞光寺の高僧知忍が南紀・太地を行脚した際、村民が鯨がとれず困窮していました。村長らの訴えをきき、仏教の不殺生の戒律をおして豊漁祈願を行ったところ、鯨の群が押し寄せますが、殺される鯨を見て、知忍は己の罪を悔いて寺に帰りました。漁民たちはあとを追い、黄金三十両と鯨骨十八を贈り、知忍はその鯨骨で橋をつくり「雪鯨橋」と名づけ、鯨の冥福を祈ったということです。

『瑞光寺のくじら橋』三善貞司制作指導 大阪市東淀川区役所 2003 *ID 0010548625 

『大阪の橋』松村博著 松籟社 1987

*ID 0000164468 p.391~393

『淀川三区稗史』三善貞司著 1978

*ID 0080196670 p.31~33

「雪鯨橋」(『大阪春秋 19号 おおさかの橋と川』大阪春秋社 1979) ID 0070052023 p.131

『大阪史蹟辞典』三善貞司編 清文堂出版 1986

*ID 0000214926 p.306

『東淀川区の史跡と伝承』三善貞司述 東淀川区コミュニティ協会 1999 *ID 0000754542 p.37~40

『東淀川歴史探訪』三善貞司編 大阪市東淀川区役所区民企画室企画振興係 2005 *ID 0010998590 p.38~40

東淀川区の人物・伝説—江口の君—

昔、江口の里を通りかかった歌僧西行が、雨宿りを乞いましたが、遊女である女あるじは断りました。西行が「世の中をいとふまでこそかたからめかりの宿りを惜しむきみかな」と歌をよむと、遊女は「世をいとふ人としきげばかりの宿に心とむなと思ふばかりぞ」と返歌し、これが縁で、二人は仏の道、歌の道について一夜を語り明かしました。遊女はその後出家した、という話が伝わっています。歌のやりとりは、「新古今和歌集」「山家集」にのっています。現在、東淀川区南江口にある寂光寺は、江口の君堂と呼ばれ、出家した遊女、妙(たえ)こと光相比丘尼の弟子たちが建てたといわれています。

『新修大阪市史 2』新修大阪市史編集委員会編 大阪市 1988 *ID 0000342133 p.88~94

『伝説と稗史 上方篇 3』伝説民話文学研究会編 新和出版社 1980 *ID 0000253367 p.168~172

『大阪史蹟辞典』三善貞司編 清文堂出版 1986

*ID 0000214926 p.256~259

『淀川三区稗史』三善貞司 1978 *ID 0080196670 p.7~13

『大阪墓碑人物事典』近松誉文著 東方出版 1995

*ID 0000492268 p.193

『東淀川区の史跡と伝承』三善貞司述 東淀川区コミュニティ協会 1999 *ID 0000754542 p.3~8

『東淀川歴史探訪』三善貞司編 大阪市東淀川区役所 2005 *ID 0010998590 p.19~26

WEB「おおさか資料室」→「大阪に関するよくある質問」→「東淀川区」『江口の君について知りたい』

東淀川区の民俗・文化—^{くにじまさらし}柴島晒—

晒(さらし)とはさらして白くした麻布または綿布のことです。淀川の豊かで清らかな流れのほとりに位置し、広大な芝生地帯であった柴島は晒の生産地でした。しかし柴島晒は、今では生産されていません。柴島に浄水場が建設されたことや、大資本により泉大津を中心として発達した泉州の晒屋にとってかわられたことなどが大きく影響したと考えられています。

『東淀川区史』川端直正編 市民日報社 1987 *ID 0010814912 p.88~91 p.217~218 p.342~344

『浪速叢書 8 摂津名所図会大成 其 2』船越政一郎編集校訂 浪速叢書刊行会 1928 *ID 0000329669 p.406

『淀川兩岸一覽 宇治川兩岸一覽』暁 晴翁著 柳原書店 1978 *ID 0000242907 p.235~236

『攝陽群談 大日本地誌体系第9冊』岡田溪志編 大日本地誌体系刊行會 1916 *ID 0013406655 p.346

『大阪史蹟辞典』清文堂出版 1986 *ID 0000214926 p.162

『東淀川歴史探訪』三善貞司編 大阪市東淀川区役所区民企画室企画振興係 2005 *ID 0010998590 p.82~86

『淀川三区稗史』三善貞司 1978 *ID 0080196670 p.70~71

「柴島晒盛衰聞書」(『大阪春秋 74号 淀川右岸』大阪春秋社 1994) *ID 0000381208 p.64~65

WEB「おおさか資料室」→「大阪に関するよくある質問」→「東淀川区」『柴島晒(くにじまさらし)について』

東淀川区を知る—中島大水道—

古代より淀川は水運をもたらすとともに、度重なる氾濫で流域住民を苦しめてきました。1678(延宝 6)年に、摂津国西成郡の北中島地域(東淀川区・淀川区・西淀川区)に属する22か村の農民らが、資金約2,000両のほとんどを地元で負担し、大変な苦勞の末、この付近から此花区伝法5までの全長約9.5km幅平均22mの大水路を、わずか50日ほどで完成させました。この水路は明治32(1899)年の淀川改修まで機能し、地域住民に恩恵をもたらし続けましたが、現在はすべて埋め立てられ忘れ去られた遺構となっています。東淀川区西淡路に「新太郎松樋」の石柱と「中島大水道頭彰碑」があります。

『百姓普請の中島大水道』大阪市東淀川農業組合二十五周年記念事業誌委員会編 大阪市東淀川農業協同組合 1974 *ID 0000382251

「中島大水道の開鑿と二、三の事実関係について」(『大阪の歴史 22号』) 1987 *ID 5100000986 p.67~85